



歯は ha 歯は ha

# MDHC だより

## NO. 53

H 2 2 . 9 . 2 2

### 三河歯科衛生専門学校

「先生！手から血が・・・」  
 豊田厚生病院 歯科口腔外科 兼子隆次

今から 20 年以上前の学生時代、手術室へ入るにあたり手洗いの実習があった。指導教官はわれわれ学生たちの腕に黒や赤の油性のマジックで線を引き、これが消えるまでブラシを使って洗い流すように命じた。私は赤く塗られた両腕を必死になってゴシゴシとブラシに液体石鹼をつけて洗った。ところが、マジックで塗られた部分は消えるどころか範囲が増えていった。先生はもっと力を入れるようにと指導した。痛みを感じてはたと気づくと皮膚の組織が剥け、下から斑点状に出血していた。マジックと思っていた部分は出血斑であった。先生に報告すると、先生はそこまでした私を満足げに見ていた。

今では笑い話になるが、当時はこれくらい手洗いについては要求された。一転、現在の手洗いは、丁寧だが、優しく洗うことを心がける。基本的にブラシは使わない。どうしても使いたければ爪の間だけ軽くかける。指の先や間、手首などの関節を互いの手で揉むように丁寧にかつ数回洗う。それで十分とされる。ブラシで皮膚をゴシゴシ洗うことは皮膚の表面の菌を落としはするが、それより下方にある組織に滅菌効果はない。むしろ皮膚を傷つけることで別の菌を誘導してしまう。滅菌手袋も効果は数時間しかもたない。少し複雑な動作をするだけでピンホール穴が開くとの報告もある。従って、適宜、手袋をこまめに交換することを推奨している。こうしたことは最近になり常識化した。

医療では 10 年が一昔ではなく 5 年もすれば白が黒に変わることがよくある。学生時代は教わったことがまるで定理のごとく感じられる。しかし、教えられた知識の中には時に真逆の心理を突きつけられることがある。物事は柔軟に捉えられなければならない。



1 第 2 期臨床実習を終えて  
 ~ 2 期 学生アンケートより ~

「実習内容で費やした時間の多いもの」  
 1 期同様、診療補助が 53.8% で全体の半分以上となり、次に見学 30.8%、器材準備、片付け 10.2% と続きます。予防処置や保健指導はまだ少ない状況です。

「実習以外での時間の使い方」  
 一番多く時間を費やしているのは、実習帳の記録で 53.8% です。平均勉強時間は約 1 時間で実習帳の記録も含まれます。30 分という学生も 2 割います。記録以外の予習、復習などに殆ど時間を使っていないことが伺えます。その日の実習と関連した勉強を行うことの大切さを繰り返し伝えていきたいと思います。

「生活について」  
 殆どの学生が食事をきちんと取る、睡眠時間を確保するなどの基本的な生活についての自己管理は出来ていました。欠席も昨年に比べ少なくなっています。

「努力したこと・勉強になったこと」  
 一番多かったのはバキューム・ライティングと器具、器材の準備で共に 20.5%、続いて清潔・不潔の 10.3%、となり、基本的な補助業務が中心でした。

「大変だったこと」  
 『知識不足で TBI が不十分だった』  
 『バキューム、ライティング操作』等  
 まだまだ、基礎的な所に苦戦している学生が多いようです。

「今後の実習に対する目標」  
 『スムーズなアシスタントが出来る』  
 『分からないことは積極的に質問する』  
 『よりよい患者対応を身につける』  
 『臨機応変に動く』  
 それぞれの学生が、反省を踏まえて目標を見直し、3 期の実習に臨んでいます。

「臨床実習の感想」(抜粋)  
 『自分がいかに勉強不足かわかった。復習をしっかりしないといけないと実感した。』等、自分の未熟さと向き合って自己評価をしていました。また、『歯科衛生士さんの患者対応はすごく勉強になった。』等、現場の指導歯科衛生士の意識の高さを目の当たりにして、目標とする歯科衛生士像が明確になったという学生もありました。

今後も臨床現場での実習、家庭での学習、そして学校での実習指導をより関連性を持ったものにするために、学校と実習先との情報交換を十分に行うよう努力したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

- 2 今後の主な行事予定 (2 年生)
- ・臨床実習 3 期終了 10 / 20 (水)
  - ・臨床実習 3 期まとめ 10 / 22 (金)
  - ・全国统一模擬試験 10 / 25 (月)
  - ・研修旅行 10 / 27 (水) ~ 29 (金)
  - ・臨床実習 4 期開始 11 / 1 (月)

